

## 令和4年度第2回北海道立旭川美術館協議会 議事録

★旭川美術館協議会は、学識経験者、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、公募の委員で構成され、毎年度2回（通常は7月と2月）開催されます。美術館の活動について、館長に意見を述べることができる諮問機関です。委員の過半数の出席で成立します。

- 1 日 時 令和5年2月28日（火） 14:00～16:00
- 2 会 場 北海道立旭川美術館講堂
- 3 出席者数 協議会委員12名中10名出席 美術館職員7名（館長および正規職員）
- 4 出席委員 石前聖香、伊東義晃（会長）、大石朋生（副会長）、坂井寿香、千葉幸恵、津辻としえ、橋場麻智子、本間公浩、村中一徳、両瀬 渉 <敬称略50音順>
- 5 議 事 (1) 令和4年度（2022年度）事業実施状況について  
(2) 令和5年度（2023年度）事業運営計画について  
(3) その他

### ◎議事録（抄）

議事に入る前に館長挨拶を行い、その後、第1展示室「モダンの芸術」展及び第2展示室で「旭川現代アート事始め」展を観覧。

観覧後、会長の議事進行により、上記の議事について各委員に諮った。

### <議事についての意見等>

- \* 事務局より令和4年度の展覧会等の実施状況（美術館評価結果を含む）、令和5年度の事業予定等を説明（展覧会、教育普及活動については映像でも紹介）。事務局からの報告、説明に対して、美術館の役割に期待することや、今後このような取組をして欲しいというようなことについて、協議委員を通して意見や感想等を頂く。
- 13日からマスクの対応が個人の判断に委ねられるが、美術館に入館する際の検温、消毒、マスク等の取り決めは決まっているのか。  
  
【事務局回答】⇒ マスクの取り扱いは国や道の方針に従う。消毒等については現状では継続していく。
- 今回の展覧会を見て、ピカソの作品の多さに感動した。こんな画家の作品があるのだということをもっと発信すれば、好きな方がその作品を見に来てくれて、他の作品も見えてくれると思う。
- 美術館まで徒歩5分の学校に勤務しているが、子ども達が図工や社会科で展覧会を鑑賞した後

に、目で見て肌で感じたことを子ども達なりに表現するのを目の当たりにして、美術館の素晴らしさを改めて感じた。

- デザインと美術、アートは混同されがちで、目的、役割は全く違うものではあるが、何かを創造する部分では共通点がある。6月にデザインウィークもあり、何か連携が出来ればと思う。来年度から旭川大学にデザイン学科ができることもあり、若い人達に美術だけではなく、物を作る事などにも興味をもってもらえたら凄く良い街になると思う。
- 美術館の場所も知らない方が多いので、10代、20代の人にインスタグラムなどで広がり、ちょっと面白そうだから行ってみようとなって、さらに地域に広がり、盛り上がっていくと楽しいと思う。
- インスタグラムやツイッターで発信するという事について、協議委員の立場で、自身のSNSで美術館で行われるイベントの紹介などを発信することは差し支えないか。

【事務局回答】⇒ 是非お願いしたい。

- せっかく旭川市に美術館があるのだから、美術に興味がない方にも気軽に美術にふれていただいて、大勢の旭川市民が集う場所になればと思う。
- SNSの発信は積極的におこなって欲しい。地方にいるとなかなか本物に触れる機会がない中で美術館は貴重な施設であり、より発展してもらいたい。  
現在、子ども達が絵を描いてもあまり評価しないと聞いている。どんな作品でも個性があって良いと学習指導をするのだと思うが、購入作品のように実際には金額で評価されるものもあるし、学習と子ども達の成長、そして芸術について考えさせられた。
- 特別展示について、学校関係団体の利用一覧がデータ化されているが、各自治体の高齢者学級や高齢者サークルなどのデータもとって、入館者の掘り起こしをされたらどうか。生涯学習の一環として、高齢者も作品に触れるということは有意義だと思うので、そのような取組もして欲しい。
- 昨年の「美術館に行こう」展は、「子どもを連れて行きやすくて良かった」と周りの母親達の反応が良く、近代美術館のサンリオ展も良い。実際には入館者に直接結び付かなかったとしても、未来には芸術に興味関心を高い子どもを育てるという意味では非常に教育的価値は高い。そういう展覧会を継続的にやっていただけるのはありがたい。来年の展覧会も良いものが見られるが、PRの仕方が大事だと思う。今の学生には紙媒体よりもデジタル媒体の方が圧倒的に広く伝わるので、どんどん若者達が使っているツールにアクセスしていただいて、著作権等で直接作品を載せられないとしても、風景のなかにこんな作品があるなどと示せば良いと思う。